

第 37 回 一橋植樹会 総会

平成 22 年 5 月 15 日 11 時

於 一橋大学佐野書院

【一橋植樹会 会旗】



【活動エリアマップ】

キャンパス全域 2009 年度活動エリア



第 37 回 一橋植樹会 総会議案

第 1 号議案 平成 21 年度事業報告並びに
決算報告承認の件

第 2 号議案 平成 22 年度事業計画並びに
予算承認の件

第 3 号議案 役員改選承認の件

第1号議案平成21年度事業報告

昨年の総会で発表しました事業計画に沿って活動してまいりました。多くの方々のご努力によりほぼ目標が達成されたと思っております。厚くお礼申し上げます。

ただ、目標未達の部分もあり、また将来に向けた課題も出てきています。それを踏まえて、今後の会の運営に当らなければならないと思っております。項目別に下記報告申し上げます。

1. ボランティア作業関連

- (1) 合計13回の作業（春のKODAIRA祭と、秋の一橋祭に備えた学生との特別共同作業2回を含む）を実施し、作業参加者数は延べ995名（教職員50名、OB464名、学生481名＝クラブ単位での団体参加を含む）で、前年度比6.6%の増加となりました。

また、3月度作業をもって月例作業の累計は77回となりました。ボランティア作業開始以来長期にわたり大きな事故もなく経過しているのは喜ばしいことであり、今後も安全には一層留意していく必要があります。

- (2) 作業にあたっては、「国立キャンパス緑地基本計画」を指針として各回の作業場所を選定し、雑草の駆除、ゴミ収集処理、枯れ木・雑木の排除、下草刈りなどを、季節に応じて実施しました。

特に西キャンパスのシンボリックゾーンである中央庭園広場やススキ草原ゾーンなどの整備を定番コースと位置づけて継続的に力を注ぐ一方、3月には如意団部室前広場に関東産のススキを植え付け、第2の草原ゾーンを新設しました。

また、従前より手つかずであった東キャンパスに関しても、軽度の清掃を含め、延べ9回の作業を行いました。

- (3) 低落傾向にあったOBの作業参加者は前年比約15%増と復調しました。当初事業計画に織り込んだ作業参加者増大対策の実施状況は以下の通りです。

①作業日連絡網の整備

35年卒から48年卒までの大半の年度については、幹事を決めてメールを使い連絡する仕組みが出来ました。

②作業後のイベントの充実

4月と10月の「野草の天ぷらを賞味する会」、9月の「月見の会」、11月の「自然薯掘り」、1月の「寒ブリと大根を賞味する会」など、作業後のお楽しみイベントも内容が一層充実してきました。

また、2月度例会時の福島顧問による座講「人が造ったギリシャの自然」も大変好評でした。

- (4) 恒例になった記念植樹は、西キャンパス南西隅の如意団部室前に、サトザクラ（御衣黄）を植えました。
- (5) 当初事業計画に掲げた「休日作業の実施」と「植樹会キャンパスツアールート」の制定・整備については、翌年度の課題として繰り越すこととなりました。

2. 学生との連携

- (1) 植樹会集会所（施設課分室）の活用

21年3月に、大学側のご厚意で完成した植樹会集会所は、組織学生班のミーティングを中心に毎週活用しております。パソコンも購入し諸データの集積・活用を開始しています。

- (2) 運動部との連携、共同作業の実施

ラクロス部、ラクビー部、ホッケー部と硬式庭球部との共同作業を実施しました。

- (3) KODAIRA祭、一橋祭に参加

KODAIRA祭と一橋祭に参加しました。事前に行うキャンパス整備のための学生とOBとの共同作業は多数の学生が参加し意義深いものでした。ただ、展示を見に来る学生が少なく、学生会員勧誘という目的は果たせませんでした。

- (4) 卒業記念植樹への支援継続

4年目の今年は、東キャンパスの池に囲まれた中庭に梅の木とドウダンツツジを植えました。3月15日に行われた記念セレモニーには学長、多くの学生とともに植樹会メンバーも参加しました。

3. 組織強化活動

(1) 会員の状況

①添付会員数推移表の通り会員総数 1,153 名、有料会員数 1,083 名となり、会員数は着実に増加しております。

②会費収入合計 320 万円（終身会員の当年度分も含め）の目標に対し実績は 295 万円（達成率 92%）で、25 万円の未達となりました。この最大の原因は、予定外の会費未納者があったためです。一方昨年度から取り入れた終身会員制に今年度も新規に 22 名の申込を頂きましたので、終身会費累計は 415 万円となり、規定によりこのうちの 10%、41.5 万円を 21 年度会費収入に繰り入れました。

(2) 課題と対策

①会費未納者との接点強化

整備された卒業年度ごとの連絡網を活用し、未納者には、はがきや電話にてアクセスを試みております。

②ホームカミングデーや OB 卒業周年記念大会での PR・会員勧誘を積極的に実施しました。一般会員増は、主に卒業年次会（延 1 1 回）における集中勧誘によるものです。会場では杉山学長や関如水会事務局長のご支援も頂き感謝申し上げます。

③先生方との接点

教職員班中心に試みましたが、思うような成果にはつながりませんでした。

4. キャンパス外活動

(1) 6 月に、群馬県玉原高原でのブナの苗木植栽作業（福嶋顧問主宰の NPO）に参加しました。

(2) 8 月に、箱根の如水会管理の“坐忘伊藤助成記念山荘”の庭園整備作業を行いました。

(3) 12 月に、福嶋顧問の先導で明治神宮外苑と目黒の自然教育園見学を実施しました。

5. 広報関連

(1) 如水会々報

「植樹会通信」は引き続き 2 ページを確保し、植樹会の活動、トピックスを順次報告。寄稿も多く、HP との連携を企画した多彩な内容で、広報としての役割を果たしています。

(2) HP

毎月更新し、アクセスの増加に努めました。「読ませる」「見せる」内容の掲載を行い、成果があったと思われます。「トピックス」「作業報告」「キャンパスの四季」さらには「国内外大学キャンパス報告」等写真を多用し、読みやすく且つ内容のある植樹会活動の報告になっています。

(3) 小冊子改訂

通算第 5 号となる活動報告「小冊子」を発行しました。如水会事務局の協力を得て、制作費を抑えつつ寄稿者、写真等を充実させ、PR に使い勝手の良いものとなりました。

(4) その他広報活動

従来よりの一橋新聞等を通しての広報に加え、植樹会旗を作成しました。

《植樹会ホームページ》

<http://jfn.josuikai.net/circle/shokujukai/>

一橋植樹会 一橋大学 100年の森プロジェクト

Let's Green & Clean 一橋植樹会

ホーム | 国立キャンパス緑地基本計画 | 実施作業一覧 | 会員登録 | 作業参加申込 | 定款 | 役員・会員 | リンク | サイトマップ | 現在位置: ホーム 2010年3月号

2010年3月26日更新

一橋植樹会ホームページへようこそ。

私達は国立キャンパス100年の森プロジェクトを推進します。

一橋植樹会は、一橋大学の掲げる方針・計画に沿い、キャンパスの緑化推進、環境整備・保全に必要な援助を長期継続的に行うことを目的としています。

知水会員の皆さんだけでなく、教職員・学生の皆さんにも植樹会活動に参加してもらうよう呼びかけています。

90年前の「記念植樹の碑」

3月18日の作業日、養正講堂の西側奥で、大正6年から大正9年までの記念植樹の碑を確認しました。一部の知水会員には旧碑のようですが、まさに発見でした。石碑は5基、卒業年度などがはつきりと識別できます。平成6年移設にともない建てられた碑の説明により、東京高商以来旧キャンパスの一部として残された一橋講堂敷地は平成5年7月、その管理を国立大学附属センターに移管され、「境内に残る記念植樹碑については、寄附者の志を後世に留める為知水会の手で管理する必要がある」とあり、この地に移設保存された碑を見つめ、母校の環境美化に貢献してきた卒業生たちの「植樹」の伝統に思いを馳せました。

※画像をクリックすると拡大されます

写真・文: 佐藤征男

新歓！山菜天ぷらパーティーのお知らせ

掲示版 掲示版だけを拡大

バック・ナンバー表示方式の変更

2009/01/13

HPのバック・ナンバーに更新月を以って表示する方法を改め、昨年12月より更新月日と変更されています。更新は、引き続き原則として月1

掲示版掲載申し込みはこちら

平成21年度事業報告（付表）

（1）作業参加者の推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	増減
教職員	81	68	50	-18
O B	432	404	464	60
学 生	399	461	481	20
計	912	933	995	62

（2）会員数の推移

会員種類		平成20年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末	増 減
個 人	一 般	671	850	998	148
	教 員	36	47	46	-1
	職 員	29	35	37	2
	(小 計)	(736)	(932)	(1,081)	(149)
団 体		17	17	16	-1
特 別		5	5	5	0
学 生		33	41	51	10
合 計		791	995	1,153	158
(有料会員)		741	936	1,083	147
* (免除会員)		50	59	70	11

*免除会員→卒業後2年未満の一般会員+特別会員（除法人）+学生会員

【植樹会の活動】



《月例作業の様子》



月例作業によってキャンパスは整備・保全されています。
各種楽しいイベントもいろいろありました。



《樹名板》



《卒業生記念植樹》



《記念植樹》



《KODAIRA 祭 クラフト教室》



《植樹会集会所》



《キャンパス産山菜を使った懇親会》

平成21年度収支決算 及び 平成22年度予算案				(単位：千円)	2010/5/15
科 目	平成21年度予算	(内訳)	実績	比率(%)	平成22年度予算案
I. 収入の部					
1. 会費	3,200		2,953	92	3,200
1) 団体		200	180		
2) 個人		3,000	2,773		
2. 如水会支援	800		800	100	700
3. 特定収入	760		774	102	700
1) 総会会費		400	400		
2) 募金 (カンパ)		50	3		
3) 寄付		300	362		
4) その他		10	9		
当期収入	4,760		4,527		4,600
4. 前期繰越	1,762		1,762		2,154
収入合計 (A)	6,522		6,289	96	6,754
科 目	今期予算		実績	比率(%)	
II. 支出の部					
1. 学園祭賛助	200		200	100	480
2. 組織強化 (学生)	400		395	99	370
3. 集会所備品	400		411	103	200
4. 組織強化 (一般)	200		193	97	200
5. HPメンテナンス	600		458	76	700
6. 広報用印刷物	250		105	42	350
学生広報	150		110	73	0
7. 総会費用	400		330	83	700
8. 記念植樹管理費	300		288	96	300
9. 卒業生植樹支援	50		111	222	100
10. 作業道具・備品	300		192	64	300
11. 保険料	150		83	55	150
12. 会議費	450		280	62	250
13. 作業後反省会	400		484	121	700
14. 事務・通信連絡費	750		439	59	300
15. 雑費	50		56	112	100
支出合計 (B)	5,050		4,135	82	5,200
次期繰越	1,472		2,154	146	1,554

貸借対照表 平成22年3月31日				(単位：千円)
資産の部		負債の部		
現金	0	終身会員前受金		3,756
普通預金	2,461	普通会員前受金		51
定期預金	3,500	繰越金		2,154
未収金	0	未払金		0
その他	0	その他		0
合 計	5,961	合 計		5,961

個人		寄 付		
山田富雄殿 29商	宮原成夫殿 29商	古郡 博殿 29経	豊倉洋一殿 29商	田村錦一郎殿29商
中川和彦殿 31法	板垣幸雄殿 34商	大井 徹殿 34商	佐藤幸雄殿 34社	庄 政志殿 35法
井上 明殿 37法	大槻裕士殿 54法			
				62
団 体		寄 付		
1	昭和48年会殿			50
2	後援会口平成20年ご寄付分 (会員親族高木康子殿、田山 毅殿 平6経)			250
平成21年度 寄 付 合 計				362

※ 下記後援会口 (平成21年ご寄付分) は後援会平成22年度予算として執行されます。

- 1 田山 毅殿 平6経 10万円
- 2 昭和47年会殿 10万円

監 査 報 告 書

平成22年4月9日

一橋植樹会会長 簾野友夫 殿

私どもは、一橋植樹会の平成21年4月から平成22年3月までの事業年度における理事の業務執行状況を監査するため、理事から業務の報告を聞くなど必要と認めた手続きを実施しました。

また、同事業年度の収支及び財産の状況を検討するため、決算報告書、すなわち収支計算書および関連書類について監査を行いました。

監査の結果、理事の業務の執行は適切であり、また、上記決算報告書は収支の状況を正しく表示しております。

一橋植樹会

監事 住田 笛雄

監事 小塚 埜武寿

第2号議案 平成22年度事業計画

基本方針

1. 「国立キャンパス緑地基本計画」に基づき、安全に留意し、キャンパスの緑の保全と環境整備に取り組みます。
2. また大学が行う基本計画のレビューと、それに基づいた新しい取り組みに協力していきます。
3. 教職員、学生、卒業生の三位一体による運営を更に充実していきます。
4. 新しい世代の会員増強に注力します。
5. 上記のために、広報活動を充実します。

具体的活動計画

1. ボランティア作業

(1) 月例作業

「国立キャンパス緑地基本計画」に基づき、四季を通じて、定番となったコースを中心とした作業を継続していきます。

なお、KODAIRA 祭、一橋祭のための事前特別作業を実施する予定です。

月例作業後のイベントについては、メンバー間の交流促進の場として、引き続き工夫を加えながら一層の充実を図り、作業参加者の増を目指します。

(2) 第2 ススキ草原ゾーンの整備

西キャンパスの南西隅に、関東種の秋の七草の草原を整備します。3月に鳩ノ巣で採取したススキの株を植え付けました。順次七草を植え付けていきます。

秋には、両ゾーンで秋の七草が楽しめます。

(3) 休日作業の設定について

仕事や授業の関係などで平日の作業に参加できない会員のために、参加しやすい日を選定して、作業を体験してもらう催しを企画します。

(4) 国立移転80周年記念事業

今年は、大学創立135周年且つ国立に移転80周年に当たります。大学は9月にこの記念式典を開催する予定ですが、植樹会としても、それに合わせて記念になる事業を大学と共同で実施したいと考えています。

(5) 記念植樹調査と整備

先輩方の残した記念植樹を改めて調査し、必要な整備を行います。「キャンパス・ツアー」のルートの一つとして、記念植樹巡りのコースの設定も検討します。

(6) 記念植樹

5年目となる植樹会記念植樹を、従来以上に実施します。

2. 学生との連携

(1) 植樹会集会所の活用

①学生班内の打ち合わせのみならず、より連携を図るべく作業班、広報班との定期打ち合わせにも活用します。

②昨年から整理し始めたパソコンへのデータ集積は、各班も含めて推進継続します。

(2) 学生の作業参加促進

学生班の中に「名簿管理・参加者把握担当」や「勧誘企画担当」を配置して、E-mailの有効活用により学生の作業参加を促進すると同時に、学生会員を増やす活動を活発にします。

(3) 体育会との共同作業促進

学生班の中に「体育会担当」を決め、作業班と連携し運動部との共同作業を促進します。

(4) KODAIRA 祭、一橋祭への参加

植樹会のイベントとして出展します。

(5) 卒業記念植樹への支援継続

4年続いた卒業記念植樹を継続支援します。作業参加のリピーターを中心にメールアドレスで個別にアピールし、協賛者を拡大します。新卒植樹会員獲得の良い機会として取り組みます。

3. 組織強化活動

(1) 定量目標

①会員総数 1,300名

有料会員 1,200名

②会費収入合計 320万円

(2) 定性目標

①特に会員数の少ない昭和49年卒以降の会員増に努力します。

②ホームカミングデー、OB卒業周年記念大会などでの植樹会の活動PRと会員勧誘活動を引き続き実施します。

③卒業年度別連絡網による作業日案内を通じて日頃のコミュニケーションを良くし、会費未納者の削減につなげます。

④先生方にご相談し、植樹会ステップアップのために、環境や緑に関係づけた講座開講を視野に入れた検討を進めます。実現できれば、学生、教職員の植樹会に対する関心は格段に高まります。

(3) 長期目標

会員総数 3,000名

4. キャンパス外活動

他大学キャンパス見学などの外部研修、外部奉仕を実施します。

5. 広報活動

(1) 如水会々報の「植樹会通信」とホームページについては、引き続き内容の充実に努めます。

(2) 植樹会史の編纂

長い歴史を誇る一橋植樹会の「歩み」とともにその活動内容の変容を、12ページほどの小冊子にまとめ発刊します。先輩方のご尽力を振り返り今後の発展につなげます。

(3) 「国立キャンパス緑地基本計画」のレビュー

「緑地基本計画」に基づく活動の進捗状況のレビューを簡潔な形で報告書あるいは小冊子にまとめていただく方向で大学と協議・検討していきます。

《 キャンパス外研修 (群馬県玉原高原ブナ林 H21.6.27-28) 》



第 3 号 議 案 一 橋 植 樹 会 役 員 案 (敬 称 略) ☆…平成 22 年度新任の役員

会 長	籾 野 友 夫	(昭 38 経)	理 事	大 川 宏 明	(昭 47 経)
顧 問	福 島 司	東京農工大学院教授	〃	横 塚 裕 志	(昭 48 商)
〃	田 中 政 彦	(昭 35 経)	〃	高 橋 治 夫	(昭 48 法)
副会長	鈴 木 勲	(昭 38 法)	〃	竹 澤 京 介	(平 7 経)
〃	八 藤 南 洋	(昭 40 経)	〃	杉 山 武 彦	学長(昭 49 博商)
〃	佐 藤 征 男	(昭 42 経)	〃	金 田 正 男	副学長
〃	湯 川 敏 雄	(昭 42 社)	〃	盛 誠 吾	副学長(昭 55 博法)
〃	鐘 江 健 一 郎	(昭 44 法)	〃	坂 内 徳 明	言語社会研究科教授(昭 54 博社)
〃	田 崎 宣 義	名誉教授(昭 51 博社)	〃	寺 西 重 郎	名誉教授(昭 45 博経)
理 事	石 原 一 子	(昭 27 学)	〃	関 啓 子	社会学研究科教授(昭 51 博社)
〃	山 本 千 里	(昭 31 商)	〃	米 山 高 生	商学研究科教授(昭 57 博社) ☆
〃	辻 卷 孝	(昭 34 商)	〃	筒 井 泉 雄	商学研究科教授
〃	國 持 重 明	(昭 35 経)	〃	吉 野 正 巳	大学事務局長 ☆
〃	土 田 将 夫	(昭 37 商)	〃	柴 田 大	大学施設課長 ☆
〃	中 居 紘 一	(昭 38 経)	〃	陸 名 明	大学学生支援課長 ☆
〃	志 田 哲 朗	(昭 39 経)	〃	石 田 亮 平	(商 4 年)
〃	栗 田 克 彦	(昭 41 商)	〃	鶴 見 圭 佑	(経 4 年)
〃	新 里 英 雄	(昭 41 法)	〃	中 西 晶 子	(法 4 年)
〃	樋 口 文 夫	(昭 41 法)	〃	竹 田 雄 貴	(社 4 年)
〃	関 統 造	(昭 41 社)	〃	山 本 華 代	(社 4 年)
〃	川 村 忠 太 郎	(昭 42 法)	〃	幅 諒 子	(社 4 年)
〃	西 村 周 一	(昭 42 経)	〃	二 宮 陸	(商 3 年) ☆
〃	高 場 恭 幸	(昭 43 経)	〃	渡 邊 麗	(商 3 年) ☆
〃	保 坂 証 司	(昭 44 社) ☆	〃	玉 田 祐 樹	(経 3 年) ☆
〃	田 中 襄 一	(昭 45 商)	〃	吉 川 和 樹	(経 3 年) ☆
〃	樋 浦 憲 次	(昭 45 経)	〃	小 川 優 貴	(社 3 年) ☆
〃	川 崎 勝 晤	(昭 46 経)	監 事	住 田 笛 雄	(昭 36 商)
〃	岩 城 悦 子	(昭 47 商)	〃	小 塚 埜 武 寿	(昭 41 商)
退任される役員		藤 木 隆 三 (昭 37 経)	鈴 木 徹 郎 (昭 39 社)	嶋 村 恵 (平 22 商)	
		平 林 孝 太 (平 22 商)	高 島 和 弘 (平 22 社)	豊 田 博 之 (商 4)	
		塚 越 義 之 (大学事務局長)	緑 川 健 (大学施設課長)	坂 下 勉 (大学学生支援課長)	

平成22年度植樹会総会出席者名簿（敬称略）

	氏名	卒業年度	備考		氏名	卒業年度	備考
1	中村 敬太郎	昭 25 学		51	高橋 治夫	昭 48 法	
2	河野 正次	昭 31 商		52	樋口 哲彦	昭 55 商	植樹会未入会
3	山本 千里	昭 31 商		53	末松 義規	昭 55 商	
4	竹内 啓介	昭 32 経		54	黒谷 次孝	昭 59 法	
5	兵藤 浩	昭 34 経		55	平林 孝太	平 22 商	
6	安井 敏之	昭 34 経		56	高島 和弘	平 22 社	
7	大泉 潤	昭 35 商		57	石田 亮平	商 4	
8	岸田 加代	(昭 35 経)	故・岸田 登令夫人	58	岡本 道雄	経 4	
9	國持 重明	昭 35 経		59	中西 晶子	法 4	
10	杉山 守	昭 35 経		60	竹田 優貴	社 4	
11	田中 政彦	昭 35 経		61	山本 華代	社 4	
12	白石 武夫	昭 35 法	多摩北支部長・昭和35年会	62	渡邊 麗	商 3	
13	住田 苗雄	昭 36 商		63	綾 宏次朗	法 2	
14	杉森 登	昭 37 商					
15	土田 将夫	昭 37 商					
16	黒川 克英	昭 37 経		一 橋 大 学			
17	藤木 隆三	昭 37 経					
18	横手 英毅	昭 37 経					
19	若林 照二	昭 38 商					
20	出野 潔	昭 38 経					
21	中居 紘一	昭 38 経					
22	簗野 友夫	昭 38 経		64	杉山 武彦	学長	
23	鈴木 勲	昭 38 法		65	金田 正男	副学長	
24	渡辺 紀征	昭 38 社		66	田崎 宣義	名誉教授	
25	志田 哲朗	昭 39 経		67	米山 高生	商学研究科教授	
26	大岡 秀次郎	昭 39 法	船橋支部幹事長	68	吉野 正巳	事務局長	
27	鈴木 徹郎	昭 39 社		69	大場 高志	学術・図書部長	
28	長谷川 輝夫	昭 39 社	植樹会未入会	70	陸名 明	学生支援課長	
29	八藤 南洋	昭 40 経		71	柴田 大	施設課長	
30	関戸 康男	昭 40 社		72	伊藤 正秀	施設課長代理	
31	小塚 埜武寿	昭 41 商		73	坪谷 英樹	施設課	
32	村川 守中	昭 41 商					
33	土田 進	昭 41 経					
34	樋口 文夫	昭 41 法					
35	吉田 裕敏	昭 41 法					
36	阿部 豊	昭 41 社					
37	関 統造	昭 41 社					
38	田中 宣秀	昭 41 社					
39	吉田 佑一	昭 41 社					
40	津田 正道	昭 42 商					
41	佐藤 征男	昭 42 経					
42	西村 周一	昭 42 経					
43	湯川 敏雄	昭 42 社					
44	高場 恭幸	昭 43 経					
45	山村 輝夫	昭 43 法					
46	保坂 証司	昭 44 社					
47	柳原 和道	昭 44 社	植樹会未入会				
48	田中 襄一	昭 45 商					
49	川崎 勝晤	昭 46 経					
50	岩城 悦子	昭 47 商					

《MEMO》



《岸田ロードの桜並木》



Let's Green & Clean
一橋植樹会